

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成26年4月24日 (2014.4.24)

【公表番号】特表2013-523676(P2013-523676A)

【公表日】平成25年6月17日 (2013.6.17)

【年通号数】公開・登録公報2013-031

【出願番号】特願2013-501779(P2013-501779)

【国際特許分類】

A 6 1 K 47/36 (2006.01)

A 6 1 K 9/22 (2006.01)

A 6 1 K 47/10 (2006.01)

A 6 1 K 38/11 (2006.01)

A 6 1 K 31/4545 (2006.01)

A 6 1 K 31/426 (2006.01)

A 6 1 K 31/47 (2006.01)

A 6 1 K 9/19 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 47/36

A 6 1 K 9/22

A 6 1 K 47/10

A 6 1 K 37/34

A 6 1 K 31/4545

A 6 1 K 31/426

A 6 1 K 31/47

A 6 1 K 9/19

【手続補正書】

【提出日】平成26年3月4日 (2014.3.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

薬学的に活性な成分を担持するマトリックスを含み、マトリックス形成剤としてイヌリンを含む医薬組成物。

【請求項 2】

イヌリンがマトリックス形成主剤である、請求項 1 に記載の医薬組成物。

【請求項 3】

マトリックスがイヌリン及びマンニトールを含む、請求項 1 又は 2 に記載の医薬組成物。

【請求項 4】

マトリックスがイヌリン及びトレハロースを含む、請求項 1 又は 2 に記載の医薬組成物。

【請求項 5】

マトリックスがイヌリン及びラフィノースを含む、請求項 1 又は 2 に記載の医薬組成物。

【請求項 6】

組成物の少なくとも 80 % が、水性媒体又は唾液に、10 秒以内に溶解する、請求項 1 から 5 のいずれか 1 項に記載の医薬組成物。

【請求項 7】

経口剤形である請求項 1 から 6 のいずれか 1 項に記載の医薬組成物。

【請求項 8】

舌下投与されるようになっている、請求項 7 に記載の医薬組成物。

【請求項 9】

活性成分及びイヌリンを溶媒中に含む液体調製物から溶媒を昇華させることによって得ることができる、請求項 1 から 8 のいずれか 1 項に記載の医薬組成物。

【請求項 10】

昇華が、前記調製物を凍結乾燥することによって実施される、請求項 9 に記載の医薬組成物。

【請求項 11】

活性成分が酢酸デスモプレシン、ロラチジン、ファモチジン及びモンテルカストナトリウムからなる群より選ばれる、請求項 1 から 10 のいずれか 1 項に記載の医薬組成物。

【請求項 12】

薬学的に活性な成分及びイヌリンを溶媒中に含む液体調製物から溶媒を昇華させることを含む、医薬組成物の調製方法。

【請求項 13】

(a) 単位投与量の前記液体調製物を、カバーされていないプリスターバックの凹部に導入すること；及び (b) 前記凹部内に固体単位剤形を得るために、調製物を昇華させること；を含む、請求項 12 に記載の方法。

【請求項 14】

昇華が、調製物を凍結乾燥することによって実施される、請求項 13 に記載の方法。

【請求項 15】

溶媒が水である、請求項 12 に記載の方法。

【請求項 16】

活性成分がデスモプレシン、ロラチジン、ファモチジン及びモンテルカストナトリウムからなる群より選ばれる、請求項 12 から 15 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 17】

(a) イヌリン及び活性成分を溶媒中に含む溶液を調製すること；

(b) 前記溶液を凍結すること；

(c) 凍結した溶液から溶媒を昇華させること；

を含み、そうして得られる医薬組成物が、水溶液又は唾液との接触で 10 秒以内に崩壊する、医薬組成物の調製方法。

【請求項 18】

組成物が、請求項 1 から 11 のいずれか 1 項に記載の組成物である、請求項 17 に記載の方法。